

平成25年度事業報告

自平成25年4月 1日

至平成26年3月31日

I 概況

平成25年度における我が国の経済は、アベノミクスによる金融緩和と公共投資の増加により、円安と株高傾向が続き、輸出企業を中心に各企業の収支が改善され、全体としては緩やかな回復基調が続きました。

雇用環境では、景気の回復と企業の収益改善を受けて、完全失業率は3%台を推移し、雇用者数の増加が見込まれています。これらは賃金面にも好影響を与え、中小企業を含め多くの企業がベアの実施やボーナスの大幅な増加を実施しています。

平成26年度は、引き続き経済政策やオリンピック誘致に伴う公共投資が拡大し、アメリカや欧州などの海外景気の回復等により、経済は緩やかな回復基調を継続するものとみられますが、中国経済の先行き不安や消費税引き上げ後の反動等の影響も懸念される所です。

このような情勢下で、当連合会は、昨年7月に一ツ橋ホールで「第10回東京産業安全衛生大会2013」を東京労働局並びに各地区労働基準協会等と共催し、771名の方の参加を得て、成功裏に大会を終了しました。同じく11月にはティアラこうとうにおいて「産業保健フォーラムIN TOKYO 2013」を同様に共催し790名の方の参加を得て、いずれも盛況のうちに終了しました。

また、ここ3年労働災害が増加傾向にあることから、東京労働局が主催する第12次労働災害防止推進計画「Safe Work TOKYO」に協力し、災害多発4業種等に対する「安全宣言」活動の取り組みや、その優良者の表彰を実施しました。

登録講習関係等では、平成25年度に実施された各種講習会等は、労働安全衛生法に基づく技能講習・特別教育を中心に年間計画を上回って実施され、件数で年間341回、受講者数で約15,700人を超えています。このことは、安全衛生教育の普及促進を図る当連合会の公益目的としての役割を果たすものと評価されます。

一方、平成25年度における収支状況について、今期の講習会収入は、上向きな事業活動を受け一定水準を確保していますが、法改正や復興需要による受講が一段落し、昨年ほどの申込数には達していません（昨年比約3、3%減）。

当連合会の平成25年度における事業活動収支は、経常収益が約2億86百万円、経常費用が約2億76百万円となり、収支差額は、正味財産ベースで約1,000万円の増加となりました。

この結果、当連合会の財務状況は、資産額約2億79百万円、負債額約1,700万円となっております。今後、引き続き、講習会収入の増加と経費の節減に努め、設備改

修資金（減価償却費用）の積立て等、公益法人としての財務基盤の確立に努めます。

昨年12月に各地区労働基準協会等組織検討委員会において、今後の各地区労働基準協会等の業務・組織のあり方等についての検討委員会報告（第1次案）を各地区労働基準協会会長・連合会長宛に提出しました。

厳しい経済情勢や各地区労働基準協会の財務状況及び中期的な会員数の減少等による業務運営の困難さを踏まえ、今後各地区労働基準協会等の業務・組織がどのように改善されれば各会員事業場のニーズに沿ったものとなるのか、今後の組織・業務のあり方を事務局長レベルで検討してきました。

平成26年度においては、上記の第1次案を基に、各地区労働基準協会等における総会・理事会等での討議を経て、それぞれの意見を集約し、その後、統合に向けての検討を進めることに賛同する各地区労働基準協会等により第2次組織検討委員会を設け、より具体的な検討を進める予定です。

当連合会としましては、3月の理事会においてその積極的な取組を進めることの承認を受けましたが、今後総会において報告し会員のご承認をいただき、各地区労働基準協会等の業務・組織の見直しについて、公益法人としての組織統合を視野に入れた具体的な検討に積極的に参加していく所存です。

なお、平成25年度末における当法人の会員数は以下のとおりです。会員数が500を切り、今後の会員拡大の取組が重点課題となっています。

会員の異動状況

区 分	平成24年度末 会 員 数	平成25年度中の異動数		平成25年度末 会 員 数
		入 会	退 会	
一般会員	492	0	17	475
団体会員	19	0	0	19
合 計	511	0	17	494

（対前年度 17減）

II 各事業の取組

1 安全衛生教育事業

当連合会の主たる公益事業である安全衛生教育事業は、平成25年度には、安全衛生関係の技能講習、特別教育等について延べ341回実施し、その受講申込者数は15,758名に及んでいます。

講習内容は、法定の技能講習はもとより安全衛生関係の特別教育及び安全衛生推進

者等その他の教育、さらには衛生管理者受験等の受験準備講習等多岐にわたっており、また、プレス・木工・鉛作業主任者技能講習のように受講生の少ない講習も、公益事業として実施しております。

受講者数は、前年比較で約500名（3%）の減少です。この2年間、各種講習は一定の高水準で推移しています。

平成25年度の各種講習等の実施回数等は次のとおり。

(1) 技能講習		
イ	フォークリフト運転（11時間コース）	8回 51名
ロ	フォークリフト運転（31時間コース）	22回 404名
ハ	玉掛け	14回 842名
ニ	ガス溶接	15回 422名
ホ	小型移動式クレーン運転	6回 120名
ヘ	床上操作式クレーン運転	6回 153名
ト	プレス機械作業主任者	1回 50名
チ	乾燥設備作業主任者	4回 237名
リ	はい作業主任者	7回 620名
ヌ	木材加工用機械作業主任者	1回 48名
ル	有機溶剤作業主任者	20回 1、635名
ヲ	石綿作業主任者	12回 751名
ワ	特定化学物質・四アルキル鉛作業主任者	18回 1、236名
カ	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	25回 2、147名
ヨ	鉛作業主任者	1回 52名
タ	高所作業車運転	6回 190名
	小 計	166回 8、957名
(2) 特別教育		
イ	研削といし取替業務	12回 438名
ロ	アーク溶接業務	13回 462名
ハ	低圧電気取扱業務	13回 1、003名
ニ	高圧・特別高圧電気取扱業務	13回 577名
ホ	粉じん作業業務	4回 211名
ヘ	産業廃棄物の焼却施設に係る業務	3回 223名
ト	石綿業務	1回 26名
チ	高所作業車運転	6回 238名
	小 計	65回 3、178名
(3) その他の教育		
イ	職長教育	12回 431名
ロ	安全衛生推進者	14回 669名
ハ	衛生推進者	13回 635名
ニ	安全管理者選任時研修	12回 656名

ホ	衛生管理者能力向上教育	1回	19名
へ	KYT研修	13回	284名
ト	携帯用丸のこ盤安全教育	12回	86名
チ	安全管理者能力向上教育	1回	37名
リ	リスクアセスメント実務研修	1回	26名
ヌ	メンタルヘルス推進担当者研修	1回	16名
ル	ラインケアセミナー	1回	11名
	小計	81回	2、870名
(4) 免許試験受験準備講習			
イ	第1種衛生管理者	13回	317名
ロ	第2種衛生管理者	13回	234名
ハ	エックス線作業主任者	3回	202名
	小計	29回	753名
	合計	341回	15、758名

2 労働災害防止と健康確保対策

(1) 安全・衛生管理者能力向上の促進

第10回東京産業安全衛生大会2013、第18回産業保健フォーラム IN TOKYO 2013、及び衛生管理者協議会研修会や産業医会研修会等を通じて情報を提供しました。

(2) マネジメントシステムの普及促進

安全衛生スタッフ向けリスクアセスメント研修の実施

中央労働災害防止協会に協力して、平成25年6月10日に実施し、計26名の参加がありました。

(3) メンタルヘルス対策の普及促進

① ラインケアセミナー研修の実施

中央労働災害防止協会に協力して、平成25年10月25日に実施し、11名の参加がありました。

② 事業場内メンタルヘルス推進担当者研修の実施

中央労働災害防止協会に協力して、平成26年1月14日・15日に実施し、計16名の参加がありました。

(4) 東京衛生管理者協議会の充実

衛生管理者協議会は、幹事会2回、研修会2回を開催、衛生管理者、保健師等各企業の労働衛生管理活動に携わる関係者延べ134名が参加しました。

この会は発足が平成9年で、現在の会員数は、323社487名です。幹事会を中心に協議会の運営を検討や研修会の企画をしています。

平成25年度実施内容は次のとおり。

イ 内容

(イ) 第1回 平成25年7月29日 当連合会

- (ロ) 総会 平成25年7月29日 同上
- (ハ) 研修会 同上
- ①第1回 平成25年7月29日 参加者 73名
- 内容 講演
- (i) 「労働衛生行政の動向について」
東京労働局労働基準部健康課
健康課長 大河内 秀人 氏
- (ii) 講演
「健康診断をキーとした産業医との連携について」
医療法人社団こころとからだの元気プラザ
産業保健部 産業医 坂本 宣明 氏
- (iii) 班別討議
- ②第2回 平成26年1月31日 参加者61名
- 内容 講演
- (i) 「メンタルヘルス不調者に係る労務管理上の問題点について」
東京産業保健推進センター
メンタルヘルス対策支援センター促進員 村上 剛久氏
- (ii) 班別討議
- (iii) 講演 受動喫煙防止のために
(一社) 日本労働安全衛生コンサルタント会
理事 田中 通洋 氏

(5) 東基連産業医会の活性化

産業医会は、幹事会の開催と産業保健活動に携わる勤務産業医に対して研修会を実施、勤務産業医の活動の支援並びに交流の場を提供しています。

(19年再発足、現在会員数58名。)

平成25年度は、平成26年2月4日に幹事会(9名参加)を実施し、3月6日に東京産業保健推進センターにおいて、研修会を実施しました。参加者数26名

内容

- ① 平成26年度東京労働局行政運営の重点課題
改正労働安全衛生法の概要
東京労働局労働基準部 健康課長 大河内秀人氏
- ② メンタルヘルス対策におけるストレスチェックのポイントと活用事例
(独法) 東京産業保健推進センター、メンタルヘルス対策支援センター
促進員 前本正彦 氏

(6) 安全・労働衛生教育研究会の開催

株式会社PRCと共催して安全衛生研修会を実施しました。
内容は以下のとおり。

イ	第1回	平成25年6月19日	参加者42名	東医健保会館
	①	DVD上映		
		(イ)	玉掛け用ワイヤーロープの安全点検と正しい取り扱い	
		(ロ)	機械安全の国際規格の考え方 ～その概念と原則・ISOのしくみ～	
		(ハ)	(改定版)目のケガを防ごう ～目の保護具と正しい取り扱い方～	
	②	講演		
			「設備安全と設備保全」 ～サイクルの“すき間”が死角を生む～ 公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 調査・研究開発部 部長 若槻 茂 氏	
ロ	第2回	平成25年9月25日	参加者51名	東医健保会館
	①	DVD上映		
		(イ)	オフィスの安全衛生アラカルト ～適正な労働衛生管理推進のために～	
		(ロ)	快適なVDT作業のポイント ～あなたにできる人間工学の自己チェック～	
		(ハ)	働く人の腰痛予防対策 ～正しい作業姿勢・動作を励行しよう～	
	②	講演		
			「オフィス作業の労働衛生管理とスタッフの役割」 ～VDT作業・受動喫煙防止対策を含めて～ 山室ウィルビーイングコンサルタントオフィス所長 (一社)日本労働安全衛生コンサルタント会東京支部専務理事 労働衛生コンサルタント 山室 栄三 氏	

3 労使の意識の高揚・啓発

- (1) 第10回東京産業安全衛生大会 Safe Work TOKYO 2013の開催
平成25年7月4日、東京都千代田区の日本教育会館一ツ橋ホールにおいて、東京労働局、各労働基準監督署及び各地区労働基準協会と共催で第10回東京産業安全衛生大会2013を開催し、771名の参加を得ました。大会の初めに、安全衛生表彰並びに伝達式が行われました。

イ 安全衛生表彰受賞者

- ・ 厚生労働大臣 功労賞（羽矢惇 前（公社）東基連会長）
- ・ 優良賞（有期事業 3 作業所）
- ・ 厚生労働大臣 奨励賞（継続事業 3 事業場）
- ・ 厚生労働大臣 功績賞（2 名）

- ・ 東京労働局長 優良賞（有期事業 2 作業所）
- ・ 東京労働局長 奨励賞（継続事業 4 事業場）
- ・ 東京労働局長 団体賞（1 団体）
- ・ 東京労働局長 功績賞（7 名）
- ・ 東京労働局長 安全衛生推進賞（1 名）

ロ 事例発表（安全）

「住友重機械グループにおける安全衛生の『グループ管理』について」

住友重機械工業株式会社 人事部

安全衛生担当部長 児玉 猛 氏

事例発表（労働衛生）

「分散する事業場と本社との職場復帰支援における連携について」

第一三共株式会社 人事労政グループ 南谷典子 氏

ハ 特別講演

「人間工学で迫る行動災害の防止について

ー思いのほか転倒、墜落・転落は重篤です！ー」

（公財）労働科学研究所 客員研究員 永田 久雄 氏

(2) 産業保健フォーラム IN TOKYO 2013 の開催

平成25年11月27日に東京都江東区の「ティアラこうとう」において、東京労働局・東京産業保健推進センターと共催、東京都を始め多くの団体の後援を得て開催されました。会場では、約790名の参加を得て、講演、セミナーのほか相談コーナー、体験コーナー、展示コーナー等が催されました。

イ 特別講演

「メンタルヘルス不調者の職場復帰支援」

（公社）日本精神保健福祉連盟 常務理事

東京慈恵医大精神医学講座講師 大西 守 医師

ロ 事例発表1

「組織生産性向上施策とメンタルヘルス対策」

日本マイクロソフト株式会社 人事本部

シニアマネージャー 道添 美幸 氏

事例発表2

「健康保持増進、生活習慣病対策について」

東日本旅客鉄道株式会社 JR 東日本健康推進センター

保健師 渡邊 澄子 氏

ハ 健康測定コーナー

- ① 転倒リスク測定・体内被曝測定・骨密度測定－労働保険協会
- ② 保健指導・栄養指導－労働衛生協会
- ③ 運動指導－東京都予防医学協会

ニ 相談・展示コーナー

- ① 東京産業保健推進センター（メンタルヘルス対策支援センター）
- ② 中央労働災害防止協会、関東安全衛生サービスセンター
- ③ （一社）日本労働安全衛生コンサルタント会東京支部
- ④ 日本産業カウンセラー協会・心の耳（メンタルヘルス・ポータルサイト）
- ⑤ 東京都歯科医師会

(3) Safe Work TOKYO 2013 『私の安全宣言』優秀作品の発表及び表彰について

平成25年11月29日に、東京労働局11階会議室において、第12次東京労働局労働災害防止計画の一環として取り組まれた『私の安全宣言』に関する優秀作品の表彰式が行われました。

これは、第12次防における取り組みの一環として、私の安全宣言コンクールの開催により、製造業、建設業、陸上貨物運送事業、小売・飲食店、その他のサービス業、行動災害及び[S a f e W o r k T O K Y O のフレーズを用いた安全宣言]部門の7部門から安全宣言を募集し、優秀作品を選考、表彰することにより、管内事業場労使の安全意識の高揚を図り、第12次防の取組の一層の推進を図るものです。

応募作品1、500件の中から、優秀作品6部門13件が選ばれ、表彰を受けられました。

(4) 第72回全国産業安全衛生大会（大阪大会）

平成25年度は、10月30日から11月1日まで、大阪市の「大阪城ホール」をメイン会場に、第72回全国産業安全衛生大会が開催されました。

当連合会は、地元大阪労働基準協会の運営に協力し、都内各事業場への大会参加を呼びかけました。本大会は、全国から約12、000名の参加者を得て、総合集会、分科会ともに盛況のうちに終了しました。この成果を次の広島大会につなぐこととします。

4 労働条件の確保・改善対策

労災保険給付実務講習会を10月23日と11月18日に当連合会研修室において開催し、各々52名、65名の参加者を得て、熱心に実施されました。当日の講

習では、新規起業就業環境整備事業の説明も行われました。

5 公益社団法人全国労働基準関係団体連合会東京都支部事業

新規起業事業場就業環境整備事業の実施

労働者の労働条件・就業環境確保のため、5年以内に新たに事業を起こした事業場に対して労働条件整備のための支援を行う事業で、平成25年度は、申請が23事業場、普及指導員7名により延べ20件の各種相談、個別指導を実施しました。

6 中央労働災害防止協会からの受託事業等

中災防からの受託事業として「地域安全衛生広報活動等事業」を受託し、東京都内における中災防の事業の周知広報や全国産業安全衛生大会（大阪大会）の参加勧奨に積極的に取り組みました。

また、中災防と共催で講習会を3回実施しました。内容は、安全衛生スタッフ向けリスクアセスメント実務研修、管理監督者・職場リーダーのためのラインケアセミナー、事業場内メンタルヘルス推進担当者養成研修で、各々26名、11名、16名の参加を得ました。

7 会議等

内容は以下のとおり。

- | | | | |
|---|-------|--------|--------------|
| (1) 定期総会 | 平成25年 | 5月30日 | 上野精養軒 |
| 公益社団法人として3年目の定期総会において審議、平成24年度事業報告及び収支決算報告が承認された。また、平成25年度事業計画及び収支予算等が承認された。 | | | |
| (2) 理事会 | | | |
| イ 第1回理事会 | 平成25年 | 5月10日 | 株式会社東芝本社 |
| 平成24年度事業報告及び収支決算報告が承認、定時総会議案等が承認された。 | | | |
| ロ 第2回理事会 | 平成25年 | 5月30日 | 上野精養軒 |
| 総会終了後開催し、会長（代表理事）、業務執行理事及び理事・監事が選任された。また、業務執行理事の職務権限規定並びに理事会の招集規定が承認された。 | | | |
| ハ 第3回理事会 | 平成26年 | 3月24日 | 日本通運株式会社本社ビル |
| 平成26年度事業計画、同収支予算書及び役員改選案が審議承認された。 | | | |
| (3) 各地区労働基準協会等連絡協議会 | | | |
| | 平成25年 | 4月19日 | 東京労働局会議室 |
| | 平成25年 | 12月16日 | 中央労働基準協会会議室 |
| 地区協会等組織検討委員会 | | | |
| 平成25年2月18日に、中央労働基準協会にて第1回検討委員会を開催し、以後隔月にて延6回開催し、地区労働基準協会・連合会等の業務・組織のあり方について、第1次報告としてまとめ、各地区労働基準協会長・連合会長あて | | | |

報告した。これを受けて、各地区協会等は総会等で検討を進め、平成26年6月末までに各々の意見を集約することとした。

- (4) 東基連会報編集会議 平成25年4月以降6回開催
4月, 6月, 9月, 11月, 1月, 3月に開催し、編集内容を検討、また、年2回は、編集委員の事業場で開催し、各委員との情報交換を図っている。
会報には、会員事業場めぐりを連載。
- (5) 公益社団法人全国労働基準関係団体連合会関係
イ ブロック代表(幹事)会議 平成25年5月14日 レン御茶ノ水ビル
ロ 常任理事会・理事会・総会 平成25年5月28日 メルパルク東京
ハ ブロック代表幹事会 平成26年2月28日 同上
- (6) 中央労働災害防止協会関係
イ 理事会・総会 平成25年5月29日 経団連会館
ロ 全国衛生管理者協議会総会 平成25年5月29日 同上
ハ ゼロ災運動推進協議会
幹事会 平成25年9月5日 産業安全会館
総会 平成25年10月31日 大阪アカデミア2階
ニ 全国支部長会議 平成26年2月27日 芝パークホテル
- (7) 関東安全衛生サービスセンター連絡会議
平成25年12月12日 安全衛生総合会館
- (8) 東京産業保健推進センター関係
運営協議会 平成25年11月18日 東京産業保健推進センター
平成26年3月13日 同上
第1回東京産業保健・メンタルヘルス対策総合調整推進協議会
平成26年1月30日 市ヶ谷アルカディア(私学会館)
- (9) その他
イ 雇用均等行政推進員会議 平成25年7月19日 東京労働局
ロ 全国登録教習機関協会 定時総会 平成25年8月23日 メルパルク東京
ハ (公財)東京都予防医学協会評議員会 平成25年6月25日 保健会館
ニ 日本労働安全衛生コンサルタント協会東京支部総会 平成25年6月20日

8 広報・出版関係事業

- (1) 会報「東基連」の毎月発行
- (2) 「衛生管理教程」・「労働衛生関係法令集(有害業務)」の販売・改定
- (3) 「労災保険給付の手続き」の改訂2版出版・販売
- (4) 「わかる労働時間管理」の販売
- (5) 「職長研修テキスト」
- (6) 「新訂2版 知らなきゃトラブる! 労働基準関係法の要点」(全基連版)の斡旋・販売

9 会員に対するサービス

- (1) 会報「東基連」無料配布
- (2) 各種講習会・研修会の開催
- (3) 各種大会・フォーラム等の開催
- (4) 各種講習（技能講習を除く）受講料の割引
- (5) 出版物等代金の割引

10 その他

- (1) 労働安全衛生法に基づく免許関係の東京地区出張特別試験
関東安全衛生技術センターが実施する東京地区出張特別試験の事務局を平成15年度から当連合会が担当、平成25年度（第11回）は、9月21日に東京都新宿区の早稲田大学西早稲田キャンパスにおいて実施。衛生管理者、ボイラー一技士、クレーン運転士、移動式クレーン運転士の免許試験を実施し、約3、900人が受験しました。
- (3) 緑十字賞の推薦
 - ・平成25年度は該当者なし
- (4) 中小企業無災害記録証の申請 4件
 - ・前田金属工業株式会社（2種）
 - ・株式会社富士通ファシリティーズ・エンジニアリングあきる野事業所（2種）
 - ・東芝DVDライセンス株式会社（1種）
 - ・総合ビジネスサービス株式会社（1種）